

サインを見逃さないで

子どもたちの明るい笑顔、生き生きとした表情には、誰もが心をなごまされます。

しかし、子どもたちが、普段と違った「おどおどしている・べたべた甘える・身体や衣服が清潔でない・攻撃的になる・表情が乏しい」といったサインを見せた場合には、何らかのメッセージが含まれています。

虐待を受けている可能性のある子どもを、周囲のおと



すべての子どもたちも輝く笑顔を

つながらりあつて子育てを

なたちが注意深く見守ってやり、そのサインを見逃さないことが重要です。

おとなとして、日頃から子どもが何をしたいのかという思いをしっかりと聴いて、子どもの出すサインに気づいてやるのが子どもの人権を守ることだと思います。

母の悩みの悩み

「仕事を終え自宅に帰ったら、食事の準備から子どもの世話まで何もかもしなくちゃいけないし、子どもに対しては、いろいろなことをしてやりたい。

ただ、子どもに泣かれたり、まわりつかれると大声を出し、手をあげそうになります。私は親として駄目……と泣きながら話されるAさん。Aさんは、愛情表現を素直に出しにくい子どもからのサインを受け止め、育児に積極的に関わりたいと思っ

ますが、職場でのストレスや夫や祖父の協力が得られないといったジレンマに陥り、育児に悩んでいます。

「日常の生活に不満がたまり、イライラして子どもにいい手をあげてしまう。いけないとは分かっている自分がい

る。でも、また子どもは泣く。そんな苛立つ自分を責めてしまふ。」と話されるAさんに、「大変だね、だけど何でも、完璧にしようとせずに肩の力を抜いて子育てしましょう。一人で悩まないで。私たちがあなたの味方ですよ。」と同じ悩みを共有しようとしている保育士の姿がありました。

虐待の背景

虐待しようと思っ

る親がいるとは考えたくありません。厚生労働省の統計(二〇〇二年)では、虐待が起こる原因は、経済状況が困難な家庭、親の疾病、家庭関係の

ストレスなどの複雑な要因が絡み合っていることが約半数近くを占めています。

注目したいのは、子育てに不安を募らせ、だれにも相談できずに虐待してしまう親たちが多いことです。

普段の生活にストレスをため、理想と現実の食い違いに戸惑い、どうしていいのかわからなくなり、子どもを傷つけてしまう親に対しては、「一人で悩まないで」と周りが気づき、助け合うことが必要です。

一緒に子育てを

保育所・幼稚園や地域には、同じような悩みを抱えている人がいると思います。一人で頑張りすぎないで、悩みを話し合ってみませんか。

子育て支援機関などで、子育ての楽しさやつらさを共感し、ノウハウを伝えあい、子どもたちと関わり合うすば

しさを共に体験してください。

厳しい社会環境の中、子どもたちの健やかな成長を見守るためには、おとな自身が普段の生活を安定させ、安心して過ごすことが必要です。そのためにもおとな同士がつながり、助け合っ

ていきましょう。
問い合わせ先 児童家庭課
(☎20-3177)

一人で悩まないでください。子育て支援機関一覧

- ▷ 子育てサークル (保健センター・☎20-3196)
- ▷ 就学前の子どもたちの情報交換の場 (子育て支援センター・☎20-3177)
- ▷ 育児相談 (子育て総合相談室・☎36-0505)
- ▷ 3才未満児の交流の場 (0・1・2・3子育て広場・☎22-7180)
- ▷ 子どもの虐待相談 (子どもの虐待防止ネットワーク鳥取・☎20-3196)

